

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 初等科教育法（音楽）（2025 年 3 月 31 日作成）

2023536205 岩木 美詠子

(〇〇する、力がある) 内容 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	(再認、再生)	解釈、例示、分類、推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1 21 世紀型学力		21 世紀学力について説明する	前向き授業の音楽科の取り組み例をあげる			
2 インストラクショナルデザイン		インストラクショナルデザインとは何か説明する	ADDIE モデルについて事例をあげる			
3 学習目標の明確化			ブルームの教育目標分類について、行動目標による例を取り上げて説明する ガニエの学習成果の 5 分類について、具体例を挙げて説明する	ブルームの教育目標分類とガニエの学習成果の 5 分類を比較して、それぞれのよさと違いを説明する		
4 教育方法の歴史		学習観(行動主義、認知主義、構成主義、社会構成主義)の変化について説明する	現在の学習指導要領における学習者の主体的に学ぶ態度(自律的な学び)について、音楽科の具体例を示しながら説明できる			
5 学習意欲を高める指導法		音楽科の学習の動機づけの具体例を挙げ、J.M.ケラーの				

		ARCSモデルのどの分類にあたるか、説明する				
				大人の学び支援について、その違いを具体的にカードで5つ挙げ、グループごとに分類し説明する		
6 教育デザイン	受けてきた音楽の授業の単元・題材構成の種類を振り返る	「主題による題材構成」「楽曲による題材構成」について説明する				
				学びの関連性、学びの積み重ね、学びのつながりを高めていく授業設計が構想できる		フローチャートを用いて、題材構成（授業デザイン）を示す
7 学校段階間の接続		保幼小の連携、小中の学習指導要領の構成について、説明する				
			発達段階を踏まえた指導の充実（低・中・高学年）について、具体的な手だてを説明できる。			
8 新たな学びの学習環境		キャロル（J.B.Carroll）の学校学習の時間モデルについて説明する				
			「教えないで学べる」とはどのようなことか具体例を挙げて説明する		EdTechを用いた実践の生徒役として使用して、その実践を評価する	「教えないで学べる」学習環境としてEdTechを1つ用いた実践を行う
9 新たな学びの反転授業			反転授業について、具体例な説明ができる			
						音楽教育における反転授業の学習展開について反転部分の指導案を作成する

10 協働的な学び の ICT デザイン			協働的な学びにおける ICT 活 用のメリットを説明する ICT を用いた協働学習の授業 をデザインする			
11 主体的・対話 的な深い学び			主体的・対話的で深い学び を、具体例を挙げて説明する ICT を活用した主体的・対話 的で深い学びを実現する授業 をデザインする			
12 カリキュラ ム・マネジメン トと学校におけ る音楽科の役割		子供や地域の実態、学校の特 色を生かしたカリキュラム・ マネジメント実現の計画例を 挙げる				
13 カリキュラ ム・マネジメン トと音楽科教科 経営		カリキュラム・マネジメント の充実のための授業計画例を たてる			PDCA サイクルの一環として 音楽科経営の自己評価を行う	
14 教育データの 利活用		教材選択の視点（内容の取扱 い）に沿って、表現・鑑賞領 域の教材（楽曲）を例示する	1 題材のデジタルコンテンツ をつくる			
15 音楽はなぜ学 校に必要なか	学校における音楽科の意味 と価値を考えたことがある か振り返る				学校における音楽教育の意味 と役割を考える	未来を生きる世代に必要な音楽の意義と価値につ いての自分の考え方を反 映させて授業づくりをす る